

Title	共同イノベーションの可能性
Sub Title	Possibilities for co-innovation
Author	白石, 翼 (Shiraishi, Tsubasa)
Publisher	慶應SFC学会
Publication year	2022
Jtitle	Keio SFC journal Vol.21, No.2 (2021.), p.16- 20
JaLC DOI	10.14991/003.00210002-0016
Abstract	楽天のグローバルプロファイルとその多様なポートフォリオについて説明した後、楽天で加速するモバイル顧客の獲得とその新たなイニシアチブについて説明します。世界中の多くの楽天TECHグローバルハブの中で、1,000人以上のスタッフがいるベンガルールにあるインドテクノロジー部門の重要性を説明します。インドで楽天グループの規模が拡大している背景には、低コストだけが推進要因ではないことが説明されました。むしろ、インドのジュガール精神（日本のおもてなし文化のような精神）は楽天インドで非常に高く評価されており、イノベーションの鍵であると信じられています。その後、ハッカソン、メディアハックフェス、カンファレンスなど、楽天インドのさまざまな活動の概要をお話しし、その後、楽天主義（楽天の成功の理念）を紹介します。最後に、楽天に於けるインド人と日本人の才能によるキャリアの可能性についても簡単にご説明します。
Notes	特集 India Japan innovation potentials Panel talk：日印合同のウェビナーシリーズ
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=0402-2102-0016

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

共同イノベーションの可能性



白石 翼

楽天インド副会長

Tsubasa Shiraishi
Vice Chairman, Rakuten India Pvt Ltd.

§ 概要

楽天のグローバルプロフィールとその多様なポートフォリオについて説明した後、楽天で加速するモバイル顧客の獲得とその新たなイニシアチブについて説明します。世界中の多くの楽天 TECH グローバルハブの中で、1,000人以上のスタッフがいるベンガルールにあるインドテクノロジー部門の重要性を説明します。インドで楽天グループの規模が拡大している背景には、低コストだけが推進要因ではないことが説明されました。むしろ、インドのジュガール精神（日本のおもてなし文化のような精神）は楽天インドで非常に高く評価されており、イノベーションの鍵であると信じられています。その後、ハッカソン、メディアハックフェス、カンファレンスなど、楽天インドのさまざまな活動の概要をお話しし、その後、楽天主義（楽天の成功の理念）を紹介します。最後に、楽天に於けるインド人と日本人の才能によるキャリアの可能性についても簡単にご説明します。

§ 楽天のポートフォリオの背景

楽天は日本の電子商取引およびオンライン小売企業です。さらに、楽天のポートフォリオは、広告、マーケティング、旅行など、さまざまな分野でグローバルに70以上のビジネスサービスをカバーしています。14億人を超えるグローバルユーザー（年間32億ポイントの発行）を抱える楽天は、世界中に広がっていると考えられています。同社のブランドは、台湾、米国、スペイン、フランス、カナダなど、いくつかの国でも高い評価を得ています。ご

く最近、同社で立ち上げた楽天モバイルは、わずか3ヶ月で100万台を超えたアプリケーションです。ますます多くの顧客が毎日その利益をさらに獲得しています。また、がんを克服し、がん患者が十分な支援を受けられる社会を実現することを使命とする楽天モバイルを立ち上げました。これらの取り組みはすべて、楽天テックコミュニティによってサポートされています。

§ 楽天がインドに焦点を当てているのはなぜか 共同イノベーションの可能性

図3は、楽天TECHグローバルハブの地理的な広がりを示しています。示されているように、同社には世界中に合計約5,000人のエンジニアがおり(2020年10月現在)、そのうち1,000人以上のエンジニアがインド人です。この中で楽天は、急成長を遂げているインドのベンガルールに、日本国外で最大の開発センターを設立しました。

楽天は2014年にわずか6人でインドでの事業を開始し、わずか6年で1,000人以上に拡大しました。楽天インドの規模拡大を考慮し、インドのシリコンバレーであるベンガルールの中心部(カボンパークの近く)に新しい施設が開発されています。この施設は、楽天インドグループが拡大を計画している、最大2,000人の従業員を収容するための最先端のオフィススペースになります。

驚くべきことに、楽天がインドに焦点を当てている理由は、(日本と比較した場合のように)低コストだけではありません。楽天はまた、問題解決の柔軟なアプローチに関連するインドのジュガール精神に強く影響を受けています。楽天は、「ジュガール」とは限られた資源を活用して革新を生み出すインドの賢い考え方を表していると信じています。インドの従業員の決して諦めない態度と結果志向のアプローチは、楽天の成長に非常に適しています。日本の考え方(おもてなし)はよりプロセスと品質を重視していますが、楽天は、インドと日本の(ジュガール+おもてなし)の考え方の統合がイノベーションを生み出すために完璧にマッチし、技術分野における今後のコラボレーションやパートナーシップに大きな可能性があると感じています。

§ 楽天インドの活動

楽天インドは、インドの大学 (IISc ベンガルール、BITS ピラニ、バンガロール大学、IIT ボンベイ、IIT グワハティ) および民間セクターグループ (NASSCOM など) と緊密に協力して、さまざまなプロモーション活動を行っています。

Rakuten TECH Global Hubs

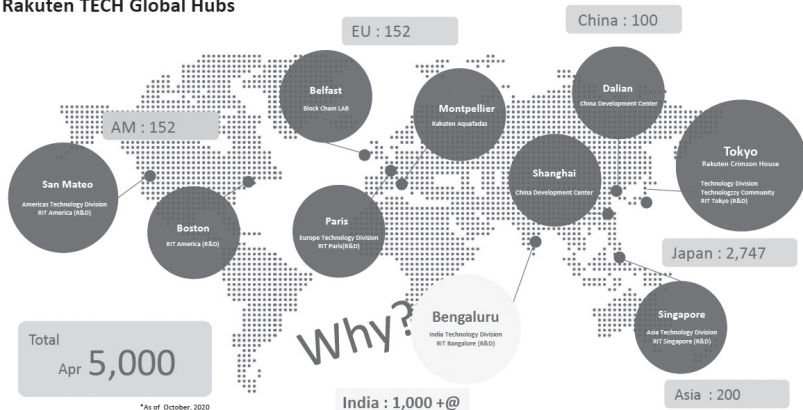


図3 世界中の楽天テックグローバルハブの地理的普及

- ・楽天ハッカソン 2019：200人以上のハッカーからなる70以上のチームが参加しました
- ・MediaHackfest 2020：70人以上の参加者が参加する楽天インド初のライブバーチャルハッカソン
- ・楽天インド製品会議 2020：27ヶ国から2,300人以上の参加者が会議に参加しました
- ・外部ブランドエンゲージメント：NASSCOM リーダーシップフォーラム—日本評議会、2020年2月
- ・外部ブランドエンゲージメント：Japan Tech Fair and Habba—2020年2月
パンデミックの期間中にも、楽天はフィットネス&ヨガやバーチャル締め会（家族との絆を深める楽しい活動）など、従業員を惹きつける様々な活動を行いました。この期間中に800件を超える Ergo Claims も処理されました。

幅広い取り組みにより、楽天インドは「働きがいのある会社」として認定されました。この認定は、世界をリードする従業員エンゲージメントと、世界中の7,500を超える独自の組織によって選択された人財育成フレームワークに基づいており、毎年350万人を超える従業員が調査されています。楽天インドの人々の慣習を説明するために、16のホワイトペーパー/記事も書かれています。このすべての成功の背後にあるのは、楽天の創業の柱である楽天の文化と成功の原則です。

楽天は、ビジネスモデルというものとはコピーして複製できると考えていますが、文化は企業の進歩の基礎になると考えます。インドと日本の多様な文化的背景を考慮して、楽天インドは文化のおよび相互交流に重点を置いています。楽天社員の成功の5つの基本原則である楽天主義は会長が作成したもので以下のとおりです。

RAKUTEN SHUGI - Principles of RAKUTEN – for SUCCESS

SHUGI 5 PRINCIPLES OF SUCCESS + 11 COMPETENCIES

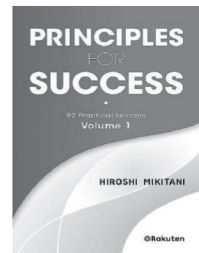
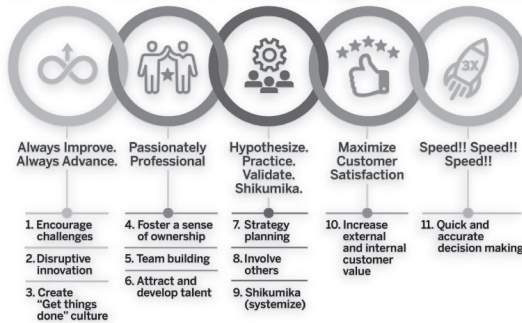


図4 楽天主義—楽天の成功の原則と能力

1. 常に改善—常に前進
2. 情熱的であれ。プロフェッショナルであれ。
3. 仮説、練習、検証。仕組化。
4. 最大の顧客満足度
5. スピード!! スピード!! スピード!!

これらの各柱の中には、図4に示すように、合計11のコンピテンシー（適格性）もあります。

§ 楽天での潜在的キャリア

インドと日本の若い才能の雇用機会の可能性に関して、楽天は、学生が必要なスキルを持っていれば、非常にオープンです。楽天の共同創設者の2人は慶應義塾大学藤沢湘南キャンパスの出身ですが、慶應義塾大学の学生の質と専門知識はすでに楽天の要件と企業文化に完全に一致しています。また、楽天での潜在的キャリアについては、学生候補者は自発的で、多様でグローバルな考え方を持っているべきであると強調しています。彼らはまた、起業家精神のスキルを持っている必要があります。現在、楽天は、楽天インドと楽天ジャパンの両方のオフィスで、インド人材を非常にオープンに受け入れています（インドの大学でのキャンパス内選考と面接の両方を通じて）。